

学会誌再編にあたってのご挨拶

日本海岸林学会 会長 岡田 穰

平素より日本海岸林学会の活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。令和 6 年 4 月に会長に就任して以来、学会運営の刷新と活性化を目指し、皆様のお力をいただきながら取り組みを進めてまいりました。

会長就任時のご挨拶では、本学会を「**多くの交流が生まれる『場』**」として再構築することを目標に掲げ、「地域との交流」「多分野との連携」、そして「情報発信の拡充」という三つの方向性を提示させていただきました。今回、皆様にご報告させていただく学会誌の再編成は、そのうちの「**情報発信の場**」の整備において極めて重要な取り組みであり、令和 6 年度総会での委託決議を受けて編集委員会の皆様が中心となって検討・協議を重ねた結果、この度、**投稿規程の改定と掲載記事の種別の刷新**が実現いたしました。

この再編の最大の目的は、投稿数の減少という喫緊の課題に対応し、**より多くの会員の皆様に「気軽に投稿できる」環境を整える**ことにあります。学会誌は学会の「顔」であり、会員同士が知見や活動を共有しあう貴重な媒体です。だからこそ、限られた研究者や専門家だけでなく、**学会を構成するすべての人々が等しく参加し、発信できる場**にしたいと考えました。

その具体的な方策として、原稿種別の見直しを行い、新たに「地域情報 (Local Information)」というカテゴリーを創設しました。このカテゴリーでは、たとえば地域住民や行政による海岸林に関する取り組み、各地の海岸林探訪、地域技術の紹介、他団体によるワークショップやイベントなど、学術論文に限らない多様な情報を投稿することが可能です。しかもこの種別に関しては査読を設けておらず、専門的な記述に自信がない方でも、思いのこもった文章を自由に投稿していただけます。

一方で、これまでの学術性を維持するための取り組みも並行して進めております。従来どおりの査読付き論文・報告の掲載を継続し、また J-STAGE 上での即時公開や DOI の付与も行うことで、学術誌としての信頼性と価値を保ち続けます。つまり、**誰でも参加できる間口の広さと、一定の質の維持を両立する『新しいかたちの学会誌』**を目指した再編です。

このようにして生まれ変わる学会誌は、単なる紙面のリニューアルにとどまらず、**学会員一人ひとりが主役となって創り上げる「共同の場」**でもあります。ぜひ、皆様ご自身の活動や気づきを、積極的に、そして何より「**勇気を持って**」投稿してください。特にこれまで投稿をためらっていた方にこそ、この新しい学会誌を活用いただきたいと願っております。

学会誌の再編は、これからの日本海岸林学会を支える基盤の一つです。皆様と共にこの学会を育て、広げ、次世代へつなげていくために、今後ともご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。

敬具